

同窓会報

ICHINOMIYA NISHI



愛知県立
一宮西高等学校

第35号

2020年8月発行

発行：一宮西高校同窓会事務局
一宮市萩原町串作字河田1番地 〒491-0376
TEL (0586) 68-1191 FAX (0586) 69-0196
E-mail dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp



令和2年度一宮西高校

同窓会総会中止のご案内



同窓会会長

5 回 生 宮 田 浩 二

同窓会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また平素は同窓会活動に対しご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

ご承知の通り、新型コロナウイルスの感染拡大がおさまりつつあり、緊急事態宣言の対象地域が減りつつありますが、特に、3密が心配されるホール等多くの人が集る行事を実施することについて、感染の危険性が危惧されておりま

す。

したがいまして、令和2年8月8日（土）に尾張一宮駅前ビル7階シビックホールで開催を予定しておりました令和2年度同窓会総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とさせていただきます。

ただくことを、5月15日に役員会の合意により決定いたしました。定例総会は、年に一度の議案の審議並びに旧交を温める大切な機会でもあります。誠に残念ですが、会員皆様の健康と安全を最優先に考慮し、この度の決定に至ったこ

とにご理解を賜りますようお願い申し上げます。

総会での議事（会計報告、事業報告、役員一覧等）につきましては会報に掲載させていただきます、書面にて役員会におきまして審議、決議させていただきます。

また、例年、総会後に実施しております懇親会ならびに学年同窓会につきましても中止とさせていただきます。15回生、35回生及び15名ほどの1回生で参加希望されておりました皆様には、来年の令和3年度同窓会総会へのご参加をお願いいたします。

尚、新型コロナウイルスの影響で、毎年7月に発送していただきました会報が遅れ、8月に発送することになりましたことをお詫び申し上げます。

未筆になりましたが、会員の皆様におかれましては自己体調管理にお努めいただきますようお願い申し上げます。本年度の総会中止のお知らせとします。

令和元年度一般会計報告

1 収入 6,346,895 円

収入の内訳	金額 (円)	備考欄
① 繰越金	2,917,659	
② 会費	2,314,000	令和元年度卒業生分 6,500 円 × 356 人
③ 総会会費	455,000	5,000 円 × 84 人、寄付等 35,000 円
④ 年会費・協力金	660,009	振込み手数料を差し引いた金額 (振込み手数料は振込み方法によって異なる)
⑤ 寄付金	214	3 年学年会計より
⑥ 利息	13	

2 支出 3,797,901 円

支出の内訳	金額 (円)	備考欄
① 総会費	488,967	
② 役員会費	270,373	
③ 同窓会報発刊費	1,992,061	
④ 卒業記念品	280,313	卒業証書ファイル
⑤ 東京支部補助金	98,640	旅費及び協力金
⑥ 通信費	147,087	学年同窓会案内ハガキ等
⑦ 名簿データ管理料	0	管理会社変更につき昨年度支払い済み
⑧ ホームページ管理料	5,466	レンタルサーバー利用費
⑨ 国際理解事業支援費	323,382	海外（オーストラリア）研修引率等
⑩ 同窓会支援費	190,512	冷風機
⑪ 雑費	1,100	金銭出納帳

3 次年度繰越金 2,548,994 円

周年事業積立金会計報告

1 収入 8,996,262 円

収入の内訳	金額 (円)	備考欄
① 繰越金	8,640,190	
② 会費	356,000	令和元年度卒業生分 1,000 円 × 356 人
③ 利息	72	

2 支出 0 円

3 次年度繰越金 8,996,262 円

役員一覧

役 職	氏 名	卒業回
顧問	北 山 ゆ り	校長
会長	宮 田 浩 二	5
副会長	則 竹 功 雄	8
副会長	大 津 純	8
副会長	伊 藤 恒 二 郎	8
副会長	鵜 飼 俊 光	9
書記	尾 関 毅	12
書記	丹 下 由 男	13
書記	山 田 典 永	21
書記	吉 田 俊 也	教頭
書記	難 波 康 哉	教頭
会計	小 関 浩 美	10
会計	浅 井 恵 子	17
会計	浅 井 照 正	39
監査	金 森 智 博	7
監査	大 竹 真 千 英	11
庶務	水 谷 悟	35
相談役	山 内 進	1
相談役	傍 島 章 介	3

昨年度の同窓会事業報告につきましては、P 8 をご覧ください。また、今年度の事業につきましては、中止の同窓会総会を除き、昨年同様に計画しております。ご不明な点がございましたら、事務局（一宮西高校内0586-68-1191）までご連絡ください。

また住所・氏名等の変更ににつきまして、同封の葉書またはE-mail：dosokai@ichinomiyamishi-h.aichi-c.ed.jpからお知らせください。このアドレスには、西高ホームページ<http://www.ichinomiyamishi-h.aichi-c.ed.jp/>からもメールを送ることができます。

昨年度の総会報告

令和元年度の総会は、昨年8月3日（土）午後5時より、尾張一宮駅前ビル7階シビックホールで行われました。

14回生・34回生を中心として、総勢110名の方々に参加していただきました。ご多忙にもかかわらず、歴代の校長先生をはじめ、懐かしい旧正副担任の先生方、現職員の先生方にもご出席いただきました。

総会では平成30年度の事業報告・会計報告、役員選出、令和元年度の事業計画・予算案の審議と、滞りなく議事を進めることができました。予算案では、今年度より同窓会支援費を新設し、学校に必要な備品等を寄贈できるようにしました。総会でもご報告させていただきましたように、同窓会費及び寄付金につきまして、多くの方にご協力いただき、重ねてお礼申し上げます。

懇親会は学年同窓会を担当した14回生・34回生に、

新会員の53回生を加え行われました。各テーブルでは、昔話に花が咲き、時がたつのも忘れて旧交を温めることができました。今年は歌手として活動されている横井里枝さん（33回生）に出演いただき、懐かしい歌と軽快なトークで会場を盛り上げていただきました。懇親会は恒例の校歌斉唱で締めくくり、名残が尽きないままお開きとなりました。

本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、同窓会総会を中止とさせていただきました。また、計画しておりました15回生・35回生の学年同窓会につきましては、来年度に延期する（以後1年ずつずれていく）予定です。日程等につきましては、決まり次第H Pにて連絡させていただきます。よろしくお願いいたします。





転・退職者

ステイホームベーキング

佐橋 誠

ステイホームということで、二か月以上に亘って家に結構いる。折角なので生活の見直しをしようと思った。ほとんど外部委託（といっても大半は共同生活者たる妻なのだが）している諸々を自分でやってみようと思ったのだ。洗濯だのアイロン掛けだの、食事だのを自分に取り返すのだ。

洗濯などはともかく、料理は自分の好きなものを作れるので都合がいい。料理の材料は不要不急で自分でスーパーに行き買ってくる。それで、クックパッドやらYouTubeなんかで作り方を調べて調理するのである。ところが、技術がないせいもあるだろう、おもしろくないのが三回に一回はある。これは食べられないと思うようなのも数回に一回ぐらいある。これを食べるのはつらいよなあ、となると、やむなく庭に捨てる。（鳥が食べてくれると信じている）

話は変わるが、料理をうまくとまずい、高いと安いで分類してみ

る。外食なんかすると、値段や量とおいしそうかどうかを天秤にかけながら選ぶ。そうすると、「うまいが高い」、「うまいし安い」、「まずい上に高い」、「まずいが安い」、の四つに大きく分類できる。で、「うまいが高い」のは当たり前といえども、これをニュートラルとする。そうすると、その上位に位置するのは「うまいし安い」だろう。下は「まずい上に高い」と「まずいが安い」かなあと思うがこの二つのどっちが一番下に位置するのだろうか。

答えは間違いない、「まずいが安い」である。「まずくて高い」場合は腹が立つ。この味でこの値段はないでしょ、と思う。だけど、「まずいが安い」は仕方ないや、値段が値段だもん、という『あきらめ』だの『みじめさ』を伴う。「まずいが高い」ものはまだいい。まずくて安いものは憐れと道連れなのだ。最近よくパンを作るが、その小麦粉も千差万別で値段がかなり違う。一キロ三百円のものあれば軽く千五百円を超えるものもある。具に使うハムやベーコンなんかかなり違う。で、自分は「まだ初心者で、違いは分からないからなあ」というつぶやきとともに、かなり安い部類の材料を買ってくる。それで、そのせいもあるかもしれないが、数回に一回信じられないほどまずいものができる。つまり、安くてまずいものの誕生で

ある。

ところがここが肝心なところなのだが、この「まずくて安いもの」に対してなら惨めさを感じないのだ。「すごいものを作ってしまった」という驚きはあるが、惨めさを感じない。それはなぜかと考えてみると、結局「自分で作っている」からだ。うまいもまずいも自分に帰することが明白だからだ。うまいのも自分、まずいのも自分のせいだからだ。料理を自分で行わず、外部委託した場合、まずいと腹が立ったり、惨めになったりする。それが自分で行えばどんなにまずくても納得がいく。

さて、一宮西高校の卒業生のみなさん。一宮西高校での生活はどうだっただろうか。わりと客観的に見つめられる時期になってきたかな。不本意なことも多かったのではないかな。個々に違いはあるし、思いはそれぞれだろうけれど、その時に自分でやったか、それともやらされたかは大きな違いを生むのだと思うよ。

西高で過ごした二十一年

平澤 稔

令和二年三月は、教員生活の中で、最も印象に残る一ヶ月になりました。元気な若者の声がしない教室、屋根が伸縮する音だけが響

く体育館。この文章が載る頃には、コロナ禍が収まっていることを切に願っています。

さて、一宮西高校同窓会会員の皆様、ご無沙汰しております。この三月で西高を退職いたしました。西高には二十一年在籍していました。

今思い返すと、生徒の皆さんと成長してきた二十一年間だと思います。三十九歳で赴任し、五日後に四十になり、還暦と退職を西高で迎えました。主として地理と倫理や政治経済を担当していたり、野球部の顧問を長く務めた関係で、様々な生徒に会うことができました。西高では一年生が一階で、進級するごとに上の階に上がります。二階から三階に上がることは、一階から二階に上がるよりも遙かにプレッシャーを感じています。今年の三年生はどうかな？知った顔はいるのかな？などと考えています。

また、野球部の顧問としては、生徒のサインミスかと思ったら、生徒同士でサインを作って、監督の知らない作戦が実行されていたりもしました。しかし、これも西高ならではのようです。自分たちで考え自分たちで行動する。これこそ西高の真骨頂だと思います。そんな生徒の皆さんに支えられ、私の二十一年間がありました。

これからも新型コロナウイルスの影響は続くと思いますが、西高の同窓生



の皆様のご多幸と西高の益々の繁栄、そして西高在校生の目的達成を祈念しております。

ありがとうございました

妹尾 岳彦

この度の異動で、中川商業高校に転勤となりました。一宮西高校には初任から6年間お世話になりました。この場をお借りしてお世話になった先生方、保護者の皆様、卒業生を含めた生徒の皆さんに感謝の気持ちを伝えできればと思います。本当にありがとうございました。

西高で過ごした6年間は、私にとって非常に充実したものでした。勉強、部活動、学校行事の三兎を追うのが西高生だ。そう言われてスタートした西高での6年間。三兎を追うのは生徒だけでなく、自分もなのだとすぐに気付かされました。日々の授業は、試行錯誤の連続で、高い進路目標の実現に向けて努力する西高生たちにどうしたら必要な力をつけてあげられるだろう。常にその問いの答えを探しながら毎日の授業をやっていました。西高には「自分もこんな授業がしてみたい」と思う、尊敬する先生方がたくさんみえたので、そうした先生方をお手本にしながら日々の授業に臨んでいきました。

「先生の授業で日本史が好きになった。」「先生の授業のおかげで受験勉強を頑張れた。」そんな生徒からの言葉が、私の活力源となりました。部活動では、最初の2年間に女子バレー部、その後の4年間で男子バレー部の顧問を務めさせていただきました。私自身バレーボールの競技経験はなく、技術指導のできない素人顧問でしたが、合計8回の県大会出場と1回の尾張支部優勝を経験させていただきました。多くの悔しい思いもしましたが、それも含めて多くの感情を部員と共有できたことは、私の大きな財産となりました。

学校行事では、5年間生徒会部の教員として、様々な学校行事の運営に携わらせていただきました。普段の学校生活では見られないような生徒たちのいきいきとした姿は私の視野を広げてくれました。

三兎を追った西高での6年間、1番の思い出は卒業式です。私は3年生の担任を2回させていただきました。3年生の1年は、まさに西高生活の集大成であり、最後の総体、最後の西高祭、そして大学入試とこれまで追ってきた三兎が今までよりも一層強くたくましい姿で私たちを待ち構えていました。度々振り返りにされましたが、何とか1年間生徒とともに乗り越え、迎えた卒業式には入学当初より大きく成長した生徒の姿があり、非常に感慨深いものでありました。

多くの方々を支えられ、生徒とともに自分自身も大きく成長できました。一宮西高校と同窓会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。6年間ありがとうございました。

西高での成長

中山 義康

この度の異動で常滑高等学校へ転出となりました。西高には新任からの6年間で勤務させていただきました。新任という、わからないことも多い期間で、先生方や生徒の皆さん、保護者の方々に助けられながらの勤務だったと思います。心より感謝申し上げます。

私が西高に来てオリエンテーションや研修でよく言われたことは、「生徒が勉強・部活・行事すべてに全力で取り組む学校である」ということです。はじめはなかなか実感がわかなかったのですが、経験を積んで様々なことに目が行くようになるとだんだんとわかってくるようになりました。入学してからすぐに授業やそれに伴う学習復習、部活動登録、ひと段落ついたら球技大会や学校祭の準備など、すべきことは盛りだくさんで、学校行事や部活動の大会で一年の予定が詰まっています。そんな中で勉強もついていたと頑張っていました。

いる姿を見ることができました。それは2年生、3年生になっても変わらないどころか、模試の予定やそのための勉強を考えると1年生の時以上の力が必要になるでしょう。そんな中やり切れるのは、もともとの能力が高いところもあると思います。ただ、それだけでなく、入学してからの努力で成長していることが大きいのだと、今では思っています。大変な日程の中、日々努力を重ねることで成長する生徒の姿にはとても感銘を受けました。

そして、生徒の成長とともに感じたのが、教員も努力しているということです。教員もクラスの運営、部活動や行事の計画、授業や補習でいかに生徒に力をつけてもらうかなど、日々工夫をされています。そのような環境の中で過ごさせていただき、周りに引張られるように、私自身も自分なりに考えて工夫し、大きく成長させていたのだと思っています。

初任校が西高で本当に良かったと心から思います。西高での成長、西高で学んだことをこれからの教員としての活動に活かしていく所存です。6年間本当にありがとうございました。



東京支部会の 報告

24回生 本田 文隆

2019年度の同窓会東京支部会を12月14日(土)に新宿で開催致しました。今回は北山校長先生と水谷先生にお越し頂き、同窓生と合わせて15名での開催となりました。

1回生の岩田さんの乾杯のご発声で始まり、前半は学校紹介のDVDも見ながら先生方に現在の西高の様子を伺い、昔との違いに驚いたり、思い出話で盛り上がりました。後半は順番に参加者の近況報告を楽しく聞いた後に、「J尾張野のくぬぎ林に」で始まる懐かしさも忘れない校歌を全員で熱唱し、ビュッフェの料理もゆっくり食べられないほどあつという間に感じた会でした。お互いに久しぶりに顔を合わせた方が多い中、世代は違うものの西高同窓生ということですから和気藹々とした雰囲気となり、皆さんが笑顔で生き生きとした表情なのが印象的でした。

今後も東京での年に一度の集まりを続けていければと思いますので、新たに進学や就職・転職・結婚などで関東にいらついった方がいれば是非お気軽にご参加頂ければ幸いです。

幹事連絡先: iwh-tokyo-reunion@googlegroups.com

西高一期生の想い出

1回生 岩田 哲明



最近是新ウイルスによるパンデミックが世界を覆っており、一日も早く終息することを願うばかりです。

さて、私は西高第一期生であり、今でも西高の輝ける青春時代を非常に懐かしく思っておりますので、西高誕生の時代を振り返ってみましたと思います。

一九六四年に、西高は一宮高校の西分校としてスタートしました。急増する戦後の団塊の世代を受け入れるべく新設された本校の開校時には、まだ校舎が未完成であったため、数ヶ月の間大和中学に間借りをしていました。

新校舎完成後に現校舎に移りましたが、まだ体育館もなく、新設校にありがちな色々な不自由さ、不便さは確かにありました。

開校二年後には一宮高から独立して、名称も一宮西高校と改めました。当時は先生方も、新設校のハンディを乗り越えて立派な高校を創ろうと、新進気鋭の精神に燃えて来られた方が多く、非常に熱意溢れる御指導をして頂いた記憶があります。

私は高校受験時代に、江南市にある私立進学校T高と迷いました

が、西高に入って本当に良かったと思っております。

T高は受験一辺倒の厳しい高校と聞いていたため、西高を選びました。

友人がT高に入ったのですが、当時のT高はクラスの座席も成績順で、大学受験の成果をあげるため、過度とも思える受験中心の指導がなされているとのことでした。

西高も学習指導は厳しいものがありました。学校行事など楽しいことも多く、それなりに貴重な青春を謳歌できたと思います。

また、西高では文武両道の精神が根付いており、勉強だけでなく、クラブ活動や生徒会活動など、皆一生懸命頑張っていました。

この様に先生と生徒が一丸となって、幾多の困難を乗り越え頑張りが抜いて来たことが、我が校の伝統として受け継がれている「西高魂」として醸成されたものと思われま

す。その結果、学校群制度廃止後であっても、今や押しも押されぬ地域有数の進学校に成長したことは、生徒、教師、父兄の三者がワンチームとなつて励んできた成果であり、OBとして誇らしく思っております。

最近グローバル時代に対応するように、スーパーイングリッシュハブスクールの拠点校となり、国際理解コースも新設され、西高の将来は益々明るいものと期待しております。



昨年度も例年通り同窓会費（年間二千円）の納入をお願いしましたところ、二百四十六名の方から会費をいただくことができました。同時にお願いしました寄附金とあわせて、六十六万円あまりをいただくことができました。ご協力ありがとうございました。今年度も年会費二千円とは別に、一口千円を寄附金としてお願いしたいと存じます。昨年度よりコンビニ振込みも可能になりましたので、同封の振込用紙をご利用の上、郵便局またはコンビニよりお振込みください。よろしくお願いいたします。

同窓会年会費の納入 及び寄附金のお礼

ります。最後にお願ひですが、私は早稲田大学を卒業し、現在は埼玉に居を構え、西高同窓会の東京支部会に入っておりますが、愛知県の高校は一般に地元志向が強いと思われ、もっと東京の大学にも目を向けて東京に来て欲しいと思います。また、関東在住の西高OBの方には、是非この東京支部会にご参加頂きたいと思ひますので、よろしくお願ひ致します。これから一宮西高の輝かしい未来に向けて、益々のご発展を祈っております。

同窓会報の 発送について

- ・同窓会報の発送について、その発送費用が会計の多くの部分を占めており、単年度では赤字になる年もあること、近年ホームページを整備して会報を閲覧できるようにしたこととを踏まえ、平成30年度の総会で、次のように決まりました。
- ・同窓会報について、卒業後20年間（最初の学年同窓会まで）は全員送付する。
- ・21年目以降、年会費を納入していただいた方には翌年から5年間送付する。未納の方は送付しない。
- ・役員、旧職員については今まで通り送付する。
- ・年会費の振り込みについては2018年度より把握する。
- ・2020年度の同窓会報（35号）から実施する。

同窓会 支援費について

今年度より、同窓会から学校の活動に必要な備品を寄贈するために、同窓会支援費を新設しました。今年度は、大型扇風機を4台購入し、寄贈しました。体育館での集会や部活動の際に、熱中症対策として利用していただいております。





同窓会年度幹事

第54回生

常任幹事 服部 兼哉

年度幹事

- 1組 花田 怜大 潮田 莉子
 2組 服部 兼哉 曾根 実咲
 3組 坂井田旭都 伊藤 舞那
 4組 長谷川碧音 堀田萌々香
 5組 若園海七斗 三輪 桃加
 6組 山田 央 伊藤 未希
 7組 平松健太郎 宮崎あずみ
 8組 高石佳太郎 石川瑞樹希
 9組 浅田 遥 岩田 唯衣

職員の異動

(敬称略)

令和2年度

◇退職者

- 国語 佐橋 誠(中京大中京)
 国語 小澤 浩一(一宮西再任用)
 国語 西原 正佳(一宮西再任用)
 地公 平澤 稔(中京大中京)
 数学 脇田 和幸(一宮西再任用)
 英語 水谷 忠司(一宮西臨任)
 用務員 森田 隆彦(退職)

◇転出者

教諭

- 国語 中根 彩未(安城東)
 地公 妹尾 岳彦(中川商業)
 数学 小林 宏佳(海翔)
 理科 佐藤 英雄(新川)
 理科 中山 義康(常滑)
 英語 近藤 広子(瀬戸窯業)

再任用教諭

- 地公 北島 茂樹(一宮)

- 地公 鈴木 博己(津島)
 数学 山崎 武嗣(五条)
 保体 阿部 一雄(稲沢)
 養護教諭

井上 美知子(稲沢東)

期限付講師

数学 加藤祐太郎(碧南工業新任)

期限付実習教員

西村 拓哉

(一宮南、一宮興道非常勤)

臨時的任用主事

小鹿 佐恵子

(海部福祉相談センター)

◇転入者

教頭

数学 難波 康哉(五条教頭)

教諭

- 国語 湯浅 長美(小牧南)
 公民 神谷 潤一(一宮)
 地歴 山口 瑞貴(初任)
 数学 森北 潤一(一宮)
 理科 山本 憲孝(稲沢東)
 保体 天野 真稔(津島東)
 英語 恒川とも子(一宮商業)
 再任用教諭
 数学 鶴飼 雅俊(一宮興道)
 数学 日比 昭彦(五条)
 理科 川口 一郎(一宮)
 英語 安藤由美子(木曾川)
 養護教諭
 早川真理子(犬山)

主任

田中 基啓(杏和)

用務員

伊神 義彰

臨時的任用講師

地公 鈴木 康佑(新規)

昨年度の同窓会事業報告

1、同窓会総会の開催

令和元年8月3日(土)尾張一宮駅前ビル7階シビックホールで開催いたしました。旧・現職員、一般会員併せて110名の参加をいただきました。

2、「同窓会報第34号」の発行

令和元年7月7日に発行いたしました。

3、同窓会年会費及び寄附金のお知らせ

今年度も別記のとおり実施いたしますので、ご協力よろしく願いたします。

4、東京支部会の開催

令和元年12月14日(土)新宿にて開催いたしました。西高からは北山ゆり校長先生と同窓生でもある水谷悟先生が出席され、合わせて15名ほどの参加がありました。

5、同窓会入会式及び卒業記念品贈呈式

令和2年2月27日(木)に実施され、同窓会からは大津純副会長が出席しました。第54回生356名が同窓会に入会し、一般会員総数は19,834名になりました。また、卒業生には、卒業記念品として今年度より新たに卒業証書ホルダーを贈呈しました。

6、学校への支援

今年度は別記のとおり、大型扇風機を4台購入し、学校へ寄贈しました。また、国際理解教育の充実に向けてオーストラリアスタディツアーなどの支援をしています。

大学合格一覧表

北海道大	1	名古屋工業大	31	慶應義塾大	1
千葉大	1	三重大	17	東京理科大	6
東京工業大	1	滋賀大	8	早稲田大	3
新潟大	1	京都大	3	愛知大	166
富山大	1	大阪大	3	愛知淑徳大	85
金沢大	3	神戸大	1	金城学院大	30
福井大	3	奈良女子大	1	相山女学園大	83
信州大	1	岡山大	1	中京大	65
岐阜大	37	広島大	1	南山大	167
静岡大	3	愛知県立大	22	名城大	130
愛知教育大	36	名古屋市立大	17	同志社大	32
名古屋大	30	国公立大合計	250	立命館大	26

